

たんぽぽささえたい（第二層協議体：山西小区・梅沢地区）

日 時：令和 5 年 2 月 7 日（火） 18：30～20：00

場 所：二宮町社会福祉協議会 第一会議室

参加者：12 名

○「たんぽぽささえたい」の活動を広めるにはどうしたらいいと思いますか？

・各地域での広報、地域間での情報共有

・コツコツと口コミ

・集まりづらく固定のメンバーにしか伝わらない（コロナの影響も）

→人が集まるイベントなどがあると良い

・イベントがない為、つながり作りができていない。今までのつながりも薄れてきている

・「たんぽぽささえたい」の意味・役割が知られていない、分からない、目的の明確化

→「たんぽぽささえたい」が出会い・知り合う・つながりのきっかけ作りの場

・「たんぽぽささえたい」がきっかけで地域づくりになった成功事例など魅力を発信する

・ゆめクラブの女性加入者が少なく 18 名しかおらず、そのうち活動しているのは実質 3 名

・70 代の参加者少ない、担い手もない

・コロナ禍で通いの場へ来ていた方が、デイサービスに通うようになった

○「こんな地域になったらいいな」

・JR 二宮駅の改札出たところに、バスの時刻表などがあれば便利

・バス、タクシー南口が少なく、北口に集中している

・山坂が多く、なかなか車を手放せない方が多い、免許返納しても暮らしやすい町

・バスをもっと乗りやすくする工夫が必要（スーパーや病院までの順路や時刻表など）

・バス路線も地域によって差を感じる（中里と川匂では本数に違いも）

・駅前の商店が少ない（駅に来て買い物ができない）

→買い物行きづらさも宅配サービスやとくし丸（移動スーパー）などを利用

→誰にでもわかりやすく親切なものを

→まずは自身で調査・体験して考える（フィールドワーク）現場目線で！

※町でも交通については話し合っていく方向

ボランティアによる移動支援なども含め考えていく

社協の車両を使用してボランティア活動など